

## ラグビー部

「自己を犠牲にして同志を英雄にする美しい精神のこもつた男性スポーツの華、そして又融和と共同、一致団結の精神。」

創立以来約三十年、岩手山の雄大な姿を毎日日の前に杜陵ヶ丘にそびゆる石桜の歴史と伝統を誇る我がラグビー部は、ここ数年不振で、あまり良い成績を残しておらず、その不振を一度に立て直そうと、一年生からの選手経験を持つ三年選手が多い今年に期待をかけて我々部員一同前年全国大会南東北予選で破れて以来、高橋主將を先頭に、寒風が身にしみて来る晩秋の頃から新らたなる希望と共にラグビー精神を心に秘めて、打倒盛岡工業の信念にもえロングランニング・柔軟体操等、骨身をけずる様な猛練習を始めた。冬休みも終り卒業式も過ぎ、春風そよぐ春休み、我々は日本大学ラグビー部主將古川氏を東京より迎えて、春まだ寒い宮古に第一回の合宿を三月

二十三日より七日間血と汗にまみれ先輩のきづいた偉業をつがんと、一同猛練習に屈しもせず一生懸命励げんだのである。

かくして実力を試すべく今年第一回目の試合盛岡市民体育祭がやつて来た。

盛岡市民体育大会（黄金ラグビー場）

五月一、三日

一回戦

岩手高 34 23 11 | | 0 0 盛岡農校

主將高橋の盲腸炎手術のための欠場にもめげず軽く破り三日の決勝に進む。決勝は我が校の宿敵盛岡工業と対戦する。

決勝戦

岩手高 3 0 | | 3 3 盛岡工業

我が校は主將高橋と、練習中足を負傷した金福の欠場が大きくひびき無念ながらまたしても破れた。この試合は体力を誇る強力FWに圧倒され三年間の経験を持つHB、TBにボールが渡らず惜くも後半10分、切札ウイング齋藤が敵のこぼれ球をひろい40ヤードの独走の1トライのみに終る。しかし我々部員一同くじけることなく次の試合に復讐せんと又しても大きな希望を胸にい抱き、黙々と血の出る様な練習を続けたが、三日後に宮古に於

ける高体連の盛岡地区予選がやつて来た。

高体連、盛岡地区予選五月七日（黄金ラグビー場）

岩手高 9 3 | | 0 0 盛岡農学校

この日はFW金福、HB千葉、TB高橋とレギュラー三人が欠場しそのためポジションが変つてなれないためFWとHB・TBのコンビネーション悪く苦戦したが盛岡工業、盛岡第一高校等と共に代表となる。

我々はこの機会を物にしようと雨の日も風の日もグラウンドが薄暗くなる迄、身体がへとへとに疲れても一生懸命練習に励む。そして遂に高体連はやつて来たが、ラグビー競技は他の競技よりも一日早く行なわれた。

高体連（宮古市ラサ工業グラウンド）

五月二十七、二十八日

第一回戦黒沢尻工業と対戦

岩手 6 6 0 | | 0 0 黒沢尻工業

練習に練習をつんだ甲斐あつて強敵黒沢尻工業を堂々うち破り第二回戦に進む。

第二回戦宮古高校と対戦

岩手 11 9 | | 3 3 宮古高校

地元であるたの応援がものすごく、我が校

選手応援にのまれた様な感じがしたが良くがんばり遂いに第二回戦も勝つ。かくして決勝戦に進む。決勝戦は翌日行なわれる予定であったが前夜からの雨のため盛岡に帰つてから雌雄を決すべく帰盛した。

六月五日（黄金ラグビー場）

決勝戦 盛岡工業と対戦

岩手 3 0 3 | | 6 3 9 盛岡工業

決勝戦では又しても敗れる。我が校は雨と学校行事の一つ遠足のため宮古より帰つて来からの練習が思う様に行かず練習不足より大敗する。もう一度初めからやり直しである。ああ悲しいかな、しかし望みは断たなかつた。そして次の国体予選、全国大会へと力を傾けた。

夏休み、我々の苦しみの一つ夏期合宿がやつて来た。しかし部員一同おじけることなく全員参加し諸先輩コーチの元に合宿練習に励む。

（八月八日——八月二十一日（十四日間）学校に合宿）

そしてこの合宿で春からの恥辱を一掃しようとしてこの合宿で春からの恥辱を一掃しようとして一生懸命練習に励む。朝は六時起床、ロングランニング、練習、掃除朝食、その後は

自由時間。午後は三時より太陽が西の山に一日の姿を休める時迄一日も休まず強敵盛岡工業を破るために先輩の残した『一にも二にも練習あるのみ』とこれを合言葉に努力する。かくして第10回国民体育大会県予選兼県民体育大会がやつて来た。

第七回県民体育大会兼第十回国民体育大会県予選八月十八、十九、二十、二十一日

(黄金グラビール場)

第一回戦盛岡第一高校と対戦

岩手 44  $\left\{ \begin{array}{c} 23 \\ 21 \end{array} \right\}$  0 盛岡第一高校

今年我が校で上げた得点の最高を記録する。

この日はウイング斎藤の五十ヤード独走やFWのスクラムトライ、フォロイーしてのトライ等あり快勝し第二回戦に進む

第二回戦黒沢尻工業と対戦

岩手 12  $\left\{ \begin{array}{c} 9 \\ 3 \end{array} \right\}$  3 黒沢尻工業

この日の相手は一回戦不戦勝で二回戦に進んで来た強力FWを持つチームであるだけに我が校は先取得点されながらもFWが低くそして下に一步速く組み七分三分とボールを取り、FW、BKの活躍目指ましく今年二度目の対戦のせいもあり、楽に戦い楽に勝ち第三回戦に進む

第三回戦宮古高校と対戦

岩手 6  $\left\{ \begin{array}{c} 6 \\ 0 \end{array} \right\}$  0 宮古高校

この日も一回戦、二回戦、不戦勝と元気の良い相手と対戦であるし、その上グラウンドのコンディション悪くFW・BKともに苦戦、再三我が校ゴール前でおされながらよく頑張り決勝に進む。

決勝戦盛岡工業と対戦

岩手 0  $\left\{ \begin{array}{c} 0 \\ 0 \end{array} \right\}$  3 盛岡工業

あゝ無念、奮闘もむなしく又しても破る。

この日は敵ゴール前ピナルティーゴールに二つとも失敗。ゲームでは勝ちながら得点で負けたのである。しかし秋田に於いて行なわれる国体南東北予選に出場出来るので我々は次日より鎌倉の国体を夢見ながら黙々と猛練習に励む。

ついに東北選手権大会兼国体予選がやつて来た。始めての他県遠征である。選手一同心に何かを抱きしめて他県の土を踏む。組合せは一回戦福島の雄、平工業と対戦と決り選手一同はりきつて九月二十三日、ただ感慨無量で開会式に望む。

第六回東北選手権大会兼第十回国民体育大会南東北予選九月二十三、二十四、二十五日

(秋田県秋田市八橋ラグビー場)

第一回戦平工業と対戦

岩手 12  $\left\{ \begin{array}{c} 6 \\ 6 \end{array} \right\}$  5 平工業

初めての他県チームとの対戦でありながらよく選手一同一丸となつて頑張る。この日はFWがスクラムトライ二つとB・Kをフォロイーして金福、久保がボールをもらいトライしFW・B・Kが一丸となつて戦い、平の後半の反撃を一ゴールにおさえ快勝、いよいよ国体出場をかけて宿敵盛岡工業と対戦す。

国体南東北予選決勝盛岡工業と対戦

岩手 3  $\left\{ \begin{array}{c} 0 \\ 3 \end{array} \right\}$  3 盛岡工業 (抽選勝)

「あゝ、天我に味方せず」折角同点にこぎつけながら、くじ運わるく国体の夢も破れ去る。歯をくいしばりながら口惜しさにたゞ呆然とし、故郷盛岡へと帰途につく。

いよいよ今年度最後の望みをかけた、そして我々三年生にとつて最後の試合となるかもしれない全国大会県予選を目の前にひかえ、選手一同三年生は花を飾ろうと、又二年生以下は三年生に花を飾つてやろうと一生懸命最後の練習に励む。大会迄に運動会があつたり

雨が降つたりして思う様に練習は出来なかつたが一同必勝を心に誓いひまを見ては練習に励む。かくして最後の試合がやつて来た。

### 第三十六回全国高校ラグビー選手権大会

岩手県予選(十月二十二、二十三、二十四日(黄金ラグビー場))

### 第一回戦黒沢尻工業と対戦

岩手3 0 0 黒沢尻工業

にわか雨の降る中を選手一同今年度三回目の黒沢尻工業をもとせず前半T・B千葉のたくみなカッテングによるトライを最後迄守り決勝に進む。

### 決勝戦盛岡工業と対戦

岩手3 0 3 盛岡工業 (抽選勝)

ああ悲しいかな、かくして今年も終つた。春から何回となく夢見たあの晴れの大阪、西ノ宮の大会も火を消した時の煙のごとく消えていつた。選手も水の水の泡となりここに又しても夢破れる。不運再度、天我に味方せず。この日は絶好のコンディションであり、秋晴れの良い天気の下に敵味方三十人、今年の覇をかけて空高くボールを蹴り又、スクラムを組みそして思うぞんぶん走つた。しかし我が校は秋田の大会に続いて抽籤負けとなる。

我が校は、前半優位に試合を進めながらも得点を得ずしてそのまま後半に入る。後半五分我が校ゴール前二十五ヤードの所でハンブルしたボールを取られトライされたが、我が校も必死の追入みをみせノーサイド寸前敵ゴール前スクラムよりボールを得、S・H佐々木よりS・O吉田とボールが渡りS・Oと第一センターの間にウイング坂下が入り坂下がボールをもらいそしてT・B千葉、高橋とボールが渡り左サイドにトライなり同点。その後ゴールならずしてついに五十分間の力闘ここに引分け抽選となる。再三敵ゴール前に殺倒しチャンスを作りながらトトライに終つた事は残念だ。

口惜涙にむせびつつグラウンドに於て何回となく想い出されて来る一年間の出来事を回想しながらグラウンドを後に一人二人と帰つていつた。淋しい姿であつた。

最後に二年生以下の諸君よ、我々三年生は三年間の実を結ばせるべき今年もついに実を結べなかつたが、そこに何か足りないものがあるのではなからうか、先輩の偉業を又しても傷つけた我等卒業生ではあるが今年の練習と、そして数々の試合に於ける色々な出来事の結果を反省し、その中より何物かを見い出

し来したるべき年のために役立つて呉れるなら我々は安心してこの杜陵ヶ丘に立つている石桜の城を去ることが出来る。終りに我々がなしえなかつたことを来るべき年に望みをかけ、諸君が努力し必勝を誓つて健闘し練習されん事を念願する。

### 今年度の陣容

FW	1	笠木	2	小鈴	3	武田	4	作田	5	久田	6	金山	7	佐山	8	吉藤	9	斎高	10	千坂	11	三谷	12	阿高	13	江江	14	笹	15	補
HB																														
TB																														
F																														

(作山記)